

運輸安全委員会ダイジェスト

JTSB (Japan Transport Safety Board) DIGESTS

第7号 (2013年4月発行)

船舶事故分析集

旅客船事故の防止に向けて

1. はじめに	1
2. 発生状況	2
3. 事故調査事例 (5事例)	7
4. まとめ	20

1. はじめに

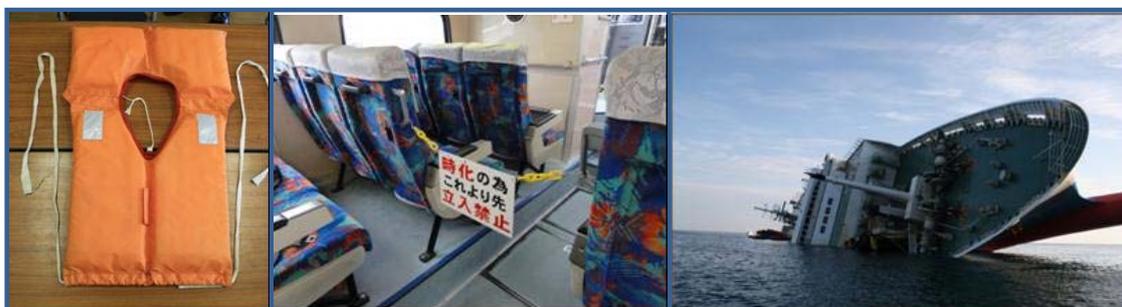
旅客船は、旅客輸送の安全確保が絶対条件であるために、ひとたび事故が発生すると、社会的反響は大きく、マスコミに大きく取り上げられることが多くあります。

当委員会では、平成24年6月に沖縄県竹富町仲間港南方及び同港南西方において相次いで発生した、船体が上下に動揺した際に旅客が腰椎を圧迫骨折した事故について、調査報告書を本年3月に公表し、旅客の輸送の安全を確保するため、国土交通大臣及び船舶所有者に対して勧告を行いました。また、平成23年8月に浜松市内の天竜川で川下りの旅客船が転覆し、5人が死亡した事故については、同様の川下り船事業者の事故防止のため、国土交通大臣に対して意見を述べました。

さらに、最近では、平成24年11月に山口県周防大島町諸島南東方沖において、修学旅行生を乗せた旅客船の乗揚事故なども発生しています。

このような状況を踏まえ、本号では、同種事故の再発防止を図る観点から、各種統計資料とともに、当委員会が行った旅客船の事故調査事例の紹介を行うこととしました。

関係者のみなさまには、大型連休、及び夏の多客期を迎えるにあたり、なお一層の安全確保に努めていただくとともに、本号が、安全講習会における教材として活用されることなどにより、旅客船の事故の防止に資することとなれば幸いです。



※ 本号における「旅客船事故等」の定義
 運輸安全委員会の調査対象となった船舶の構造、設備又は運用に関連した船舶事故等のうち、旅客船（カーフェリーを含む。）が関係する事故等をいう。
 なお、掲載の統計データには調査中のものを含んでいるため、変動する場合があります。